



環境通信

Vol. 2

発行日：平成 16 年(2004 年) 3 月 30 日 編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel (56)4061 Fax (56)3999



「城陽環境パートナーシップ会議」では、昨年 10 月 25 日の発足以来、平成 15 年度の事業計画に基づいて、環境の保全や啓発に向けた様々な活動を展開してきました。今号では、その概要をお知らせします。

環境井戸端会議の開催

1 月 31 日(土)に「市内河川の現状とこれから」
「生ごみ処理機の効果と現状」をテーマに福祉センターで環境井戸端会議を開催し、会員ら約 80 人が参加しました。

会議では、河川の現状に関する市担当者からの説明や会員による生ごみ処理機のモニター報告の後、参加者全員でワークショップによる意見交換を行いました。

【井戸端会議のまとめ】

河川の水質については、一定の改善が見られる。

多様な動植物が生息し、市民の憩いとやすらぎの場としての河川づくりが今後の課題である。

生ごみ処理機については、それぞれに長所・短所があり、今後、モニター使用等の取り組みを継続する中で、さらに検討していく必要がある。

環境問題は、まず関心を持つことが大切である。

環境問題への関心の高まりが、個人のモラル向上や自主的な行動に結びつくものである。

環境パートナーシップ会議では、今後、各種の環境保全等に向けた活動を積極的に展開していくので、より多くの市民の皆さんのご参加をお願いしたい。

環境パートナーシップ募金

パートナーシップ会議の PR と環境保全に関する啓発を目的として、2 月 3 日から市役所・コミセン・文化パルクに募金箱を設置しています。

募金箱には「環境カエル」というイメージキャラクターを採用し、親しみやすいものにしました。

実施から 1 か月間で 2 万 3,578 円のご寄附をいただいております。今後もあらゆる機会を通して PR に努めてまいります。また、会員の皆さんにもご協力と PR をお願いいたします。



生ごみ処理機等の展示



生ごみ処理機の普及と啓発を目的として、コンポスト容器、EMボカシ容器、電気乾燥式生ごみ処理機と会員によるモニター報告資料などを、2月3日（火）から13日（金）まで市役所1階のロビーに展示しました。

生ごみの減量という身近な話題であることから、来庁者の関心も高く、事務局にも多くの問い合わせがありました。今後も引き続きモニター活動を実施し、各種生ごみ処理機の効果や長所・短所などに関する情報を提供してまいります。

身近な河川と動植物の観察会

3月13日（土）に、市との共催で「平成15年度自然観察会」を開催し、約30人が参加しました。

今回は、「身近な河川とそこに生きる動植物たち」をテーマとし、案内と説明は、「城陽生きもの調査隊」の皆さんに協力をお願いしました。

当日は好天に恵まれ、やわらかい春の日差しの中、今池川の上流部から古川南橋までの区間を歩きながら、河川のpHやCODなど水質調査の体験や周辺に生息する動植物の観察を行いました。



参加者へのアンケートによると、「他の河川の観察会も実施してほしい」「野鳥について詳しく知りたい」など、活動の広がりや次回の開催を期待する声が数多く聞かれました。

観察結果については、来年度に環境井戸端会議を開催して発表するとともに、会員や市民の皆さんとの意見交換を行い、今後の活動に反映してまいります。

環境パートナーシップ会議の『愛称』を募集します！

環境基本条例や計画の実現に向けて、市・市民・市民団体・事業者の協働により、身近なことから取り組みを進めている城陽環境パートナーシップ会議の『愛称』を募集します。文字数や標記方法に制限はありません。皆さんの自由な発想で、素敵なアイデアを提案してください。たくさんのご応募をお待ちしています。

なお、採用作品については、運営委員会での審査により決定し、平成16年度の年次総会で発表します。

応募方法：官製ハガキに愛称と応募者の住所・氏名・年齢・職業・電話番号をご記入の上、事務局へお送りください。FAXでの応募もOKです。

（送付先：〒610-0195 城陽市役所環境企画課・FAX：56-3999）

締め切り：平成16年5月14日（金）

環境家計簿を作成しました



環境家計簿とは？

家計簿といえば、普通、皆さんがそれぞれの家庭で無駄遣い等をしないようにつけるものです。私たちは電気やガス、水道、ガソリンなどの資源やエネルギーを大量に消費し、資源ごみ等も捨てています。これらは物質的な豊かさや便利さをもたらしてきましたが、その反面、環境への負荷を増大させ、地球温暖化などの深刻な環境問題を引き起こしています。

今、普段の生活の中で、電気、ガス、水道などの節約に取り組み、温暖化の原因とされる二酸化炭素（ CO_2 ）の排出量を減らすことが求められています。

そこで、城陽環境パートナーシップ会議では、家庭での省エネに家族みんなで気軽に取り組んでいただく方法として、『環境家計簿』を作成しました。

環境家計簿は金銭をチェックするものではありません。電気、ガス、水道などの使用量や料金を記入し、決められた排出係数を掛ける（ CO_2 の量に換算）だけで、皆さんの家庭から出る CO_2 の排出量がどれだけになるかを算出します。

市が策定した「城陽市環境基本計画」においても環境ビジョンの一つに地球環境を挙げており、温暖化防止の啓発に取り組み、行動につなげることを重点目標に、『環境家計簿』をすべての家庭で一度は実施することを目標としています。

家庭でできることから始めよう

地球温暖化の防止に向けて、私たち市民ができること、それは家庭での身近な取り組みです。テレビや電灯のつけっぱなしや無駄なアイドリング、水道水の無駄使い、過剰包装など、日常生活の中で、何気なく行っている行動を見直し、省エネとリサイクルを徹底し継続することが地球温暖化の防止に大きな効果となります。また、これらの取り組みは光熱水費など家庭の経費削減にもつながるものです。

さあ、皆さんも、家族みんなで『我が家の環境診断』を始めてみませんか。

「エコ家庭認定証」を目指そう！

会員の皆さんにお送りした『環境家計簿』をご覧ください。

5ページに実施方法と記入の仕方を掲載しています。



まず初めに、Step 1「エコライフ点検」で家庭のエコライフ度を確認し、次に Step 2「環境家計簿」に電気・ガス・水道・ガソリン等の月ごとの使用量と燃やすごみの量を記入し、家庭から排出される CO_2 を測定してみましょう。いずれも3か月間連続して記入し、事務局へ送付してください。「エコ家庭認定証」と記念品を差し上げます。

<家庭の省エネ対策・1口メモ>

テレビ番組を見るのを、1日1時間減らす 年間で約1,000円の節約

♪ 皆さんの活動を紹介します ♪

城陽環境パートナーシップ会議では、『皆さんの環境保全に向けた活動』『家庭での省エネのアイデア』などを、「環境通信」で紹介することになりました。

ついては、掲載を希望される個人や団体を下記の要領で募集しますので、どしどしご応募ください。

<応募方法>

原稿用紙など（様式は問いません）に、氏名（団体名と代表者名） 住所（代表者の住所） 電話番号 活動内容（200字以内で簡潔にまとめてください）を明記し、活動時の写真（サービス判・1枚）を添えて、事務局（環境企画課）まで郵送もしくは持参してください。

<注意事項>

- ・会員以外の方も応募できます。
- ・営利を目的とした活動や政治・宗教に関する活動は掲載できません。
- ・掲載は応募順に行うこととし、掲載号の指定はできません。

部会に参加しませんか

～あなたの声を活かしましょう～

生活・自然部会

河川や動植物に関する学習会・観察会の開催
家庭での緑化に関する学習と啓発 など

循環・地球環境部会

生ごみ処理機に関する学習と啓発
太陽光発電（家庭用）に関する学習
環境家計簿の普及啓発、会報の発行 など

開催日時：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時（変更の場合あり）

開催場所：市役所内会議室（変更の場合あり）

申し込み：参加を希望される方は、事務局（環境企画課 担当：木村）までご連絡ください。TEL：56-4061 FAX：56-3999



次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

安藤光一、イズミヤ(株)大久保店、京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、京阪観光開発(株)東城陽ゴルフ倶楽部、サントリー食品工業(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、(社)城陽青年会議所、白鳥幼稚園、星和電機(株)、玉井開発、中西佳男、長池工業(株)、(株)長尾組、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、(株)富士産業開発社、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光、(株)山岡製作所

平成16年2月末日現在（五十音順・敬称略）

～自然とともにみんなでつくる未来の城陽～